

# いずみ

Alumni  
Association  
IZUMI

第14号

## 2023年2月18日(土) 第13回通常総会を開催

和泉短期大学内にて第13回通常総会が開催されました。

過去2年間は縮小やオンライン併用のハイブリッド方式など工夫して行ってきましたが、今年度は会場を食堂に戻し、感染症対策を講じたうえで須田拓理事長先生をはじめ多くの教職員の方々、卒業生にご出席いただき2022年活動報告・会計報告、2023年活動計画・予算等議事は滞りなく進行し、承認されました。



### 会 長 挨拶 川井 赴彦 (42期生・2008年3月卒業)

同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会活動に対しましてご理解ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。また、コロナ禍により、保育・福祉等の現場で一層の配慮をしながら一時たりとも気は緩められず緊張の連続ですが、目的はぶれず日々ご尽力されている姿に敬意を表します。

昨年は、皆さんもご存じのように激動の一年でした。国・地域により差はありますが、コロナとの共存、社会経済活動の正常化が一段と進んでおります。また、世界が震撼した2月24日のロシアによるウクライナ侵攻は、コロナから回復しつつあった世界経済を混乱させ、依然として世界秩序に大きな影響を与えています。しかし、暗いニュースだけではなくありません。先のWBCでは、栗山監督率いる侍ジャパンが、多様な個性と共に優勝という目標を目指して一致団結して戦い、3大会ぶり3度目の優勝という結果を出し、日本中が歓喜に包まれました。

同窓会いずみは、常に世の中の動きを見ながら、また、短大との連携を取りながらこの一年間活動を続けてきました。役員間の打ち合わせや総会も一同に集まる形から時代に合わせてオンラインツールを使用しながら、役員一人ひとりの情報網やアイデアを生かし活動の実施へと繋げてまいりました。しかしながら、1期目ということに加えコロナ禍ということのように活動ができなかった現状もあります。同窓会で掲げているテーマ「つながり」を紡ぐことができる活動を今後も検討してまいります。2023年度は、コロナ以前とは形を変えて、4年ぶりにいずみ祭の開催を予定しております。皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

終わりに、同窓会いずみは、今後も短大をはじめ関係各所の皆様との連携を深めながら「新たな生活スタイル」に合わせた活動をしてまいります。どうぞ皆さま、ご支援よろしくお願いたします。同窓生の皆様のさらなるご活躍とご健康を願い挨拶とさせていただきます。



# 和泉短期大学同窓会いずみの歩みに寄せて

学校法人和泉短期大学 第6代事務局長 土橋 正文

学校法人和泉短期大学（設立当初は学校法人クラーク学園）が1956年に創設され、2023年5月15日で創立67周年を迎えました。本学卒業生は、短期大学17,492名、和泉福祉専門学校2,313名、専攻科231名、総数で20,036名の卒業生が専門職として、幼稚園、保育園、福祉現場で活躍しています。卒業生は私の誇りなのです。

私は、1980年4月に学校法人クラーク学園（当時）和泉短期大学の事務職員に採用され、43年間の務めを終え、2023年3月31日付けにて事務局長任期満了により退職致しました。

2023年5月で67歳になる私ですが、学校法人和泉短期大学の歴史と同じであることが働くうえで、私の心の支えでした。在職中に関わった卒業生は、約17,000人ですので、実に8割以上の卒業生と関わることが出来たことはとても光栄なことです。

伝統ある和泉短期大学の原点は、第2次世界大戦敗戦直後に、日本の困窮した子どもたちを救済するためにララ物資という救済物資を日本に輸送船で送り、横浜港から日本全国にミルクや缶詰、衣類などの物資を配給する為に奔走したのがアメリカのボランティア民間団体（アジア救済公認団体）でした。その物資の配給に当たったのがCCF（クリスチャン・チルドレンズ・ファンド）の本学の創立者となったクラーク博士とバット博士、ミルズ博士です。この貴重な物資により、日本の300万人の子どもたちが助かりました。現在の学校給食の元になっています。

その背景もあり、和泉短期大学は日本で唯一の単科の児童福祉学科を設置し、建学の精神は、「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、その具現化としてのスクールモットーは「愛と奉仕」です。まさに「保育と福祉」が学べるキリスト教短期大学なのです。

同窓会いずみは、何時の時代においても、在学生、卒業生に寄り添った支援をいただいています。創立30周年、50周年、60周年記念事業の支援、周年記念校旗、フラッグサイン、経済的困窮者の奨学金支援、いずみ祭等の学生支援活動、また、卒業生ならではの目に見えない支援もいただいています。

和泉短期大学同窓会は、初代同窓会清流を経て、第2期の学校法人クラーク学園同窓会いずみが2007年7月28日（土）に設立され、山田ひろみ会長に就任していただきました。そして、2015年に遠藤陽子会長、2022年からは川井昶彦会長に引き継がれています。役員の方々は、現職の仕事の忙しい時間の合間に、同窓会報の作成、発送、住所変更、在学生支援など、多くの心温まる在学生、卒業生支援活動をしていただいています。本当に感謝しております。

最後に、私事ではありますが、第13回通常総会後にサプライズとして、貴重な時間をとっていただき、一生忘れることができない涙溢れる困む会を開催していただきました。大好きな卒業生、理事長、学長、教職員に囲まれてのとても楽しい時間を過ごすことができました。43年間のご支援に感謝するとともに、今後とも、和泉短期大学の歩みに対してご支援をよろしくお願いいたします。



## 同窓会活動って何をしてるの？



同窓会いずみでは、皆さまからお預かりしている同窓会費を様々な形で、卒業生や在校生のために使わせていただいています。入学祝いや卒業祝い品も同窓会からお贈りしています。またアドベント礼拝やクリスマス礼拝、焼き芋会など学校行事においても支援させていただきました。さらに今年度は、4年ぶりの開催となるいずみ祭で、卒業生と教職員の交流スペースである「いずみのひろっぱ」の復活となります。10月28日（土）のみの開催となりますが、ぜひお越しください。いずみ祭ホームカミングデーに関する詳細はホームページでご確認ください。

下のQRコードをスマートフォンで読み取ることで和泉短期大学のホームページをご覧になれます。



上：大人気の焼き芋会  
右上：礼拝でのお菓子支援  
右下：焼き芋担当の皆さん



第14号のペンリレーはいかがだったでしょうか。今回もバトンをお渡しし、学生生活の思い出や近況をお伺いしました。思わぬところで繋がっている和泉生！ある日あなたにもバトンが届くかもしれません。その時は是非、笑顔と共に・・・バトンをつないでください。

## 鈴木朝子さん 専攻科 2014 年度卒業・Fグループ (アドバイザー 松浦浩樹先生)



**【学生生活の思い出】** 和泉で過ごした日々はとても楽しかった思い出ばかりです。淵野辺公園へ木々の観察に行ったこと。調理実習では班で考えたお弁当を作ったこと。沢山の粘土を使ってクラスメイトを象ったこと。なんとと言っても先生方や、ともに学んだ仲間が温かく楽しい方々ばかりだったため、今でも連絡をとつ

たり、しばしば和泉にもお邪魔しちゃっています。

専攻科で一番印象に残っているのはみんなで床に寝て褥瘡体験をした事です。じっとしていることって意外と大変で、普段無意識にしている寝返りができないという苦痛を味わえました。それが今の支援にも繋がっていて、相手の気持ち、立場になって考えるということを大切にしています。

**【近況】** 今年からは主任も任されたため、より一層ご入居者の皆様に寄り添いながらも、職員の間なども楽しく働ける環境を創っていこうと思います。同じ職場で働く和泉卒業生ともおさんぽしたり、山登りをしてリフレッシュし、楽しくがんばっています。

## 早瀬衣里さん (旧姓:中村) 1992 年度卒業・Cグループ (アドバイザー 佐藤守男先生)



**【学生生活の思い出】** 和泉短期大学を卒業し、31年の時が流れました。同窓会幹事の遠藤陽子さんと会計監査の臼井智恵子さんと洲藤和泉さんをはじめ、社会福祉コースの友人達とのお付き合いも長くなりましたね。アルバムの中に、奇抜な衣装とメイクの集合写真がありました。楽しい授業を思い出し、笑顔になります。また、クリスチャンの先生方が学生の私に、信仰の友として励ましておられる事を感じました。聖書の中に「鉄は鉄

によってとがれ、人はその友によってとがれる。(箴言 27章 17節)」と書かれているように、和泉短期大学は、良い感化を受ける事が出来ます。

**【近況】** 卒業後は、高齢者施設と在宅で介護福祉士やケースワーカー、ケアマネジャーとして勤務しました。出産後は、介護保険認定調査員の仕事に従事し、11年目になります。日曜日は、教会学校のキッズクラスで、保育士の資格を活かしています。これまでの歩みを助けて下さった神様と友人達に、感謝しています。



## 齊藤穂香さん 2018 年度卒業・Cグループ (アドバイザー 櫻井奈津子先生)



**【学生生活の思い出】** 空き時間に友だちと空き教室を借りて誕生日パーティーをしたり、ピアノ室でピアノを教えあったりしていました。また、課題がたくさん出た時は、空き教室に籠って友だちと勉強をしてみんなで一緒に乗り越えたことが良い思い出です。

**【近況】** 保育士になって6年目

になりました。現在は相模原市の和泉保育園で働いています。就職してからも学べる事が多く充実した日々を過ごしています。

保育園の前は幼稚園に勤めていましたが、園によって方針は様々だと感じました。自分のやりたいこと、学んでみたいと思える場所を探してみるのとはとても大切だと思います。

就職してからも、和泉短期大学の先生方には仕事で悩んだ時に相談に乗ってもらうことが何度もありました。相談しやすい先生が多くとても心強い存在です。

これからも和泉短期大学で学んだ事を心に留め、保育者として成長出来るように努力していきます。



# \*\*\* 第14回通常総会(改選)のおしらせ \*\*\*

開催日時

2024年2月17日(土)  
13:00 受付開始 14:15 終了予定

場所

和泉短期大学

申し込み方法

出席をご希望される方は、同封の総会申込用紙にご記入の上、和泉短期大学事務局へ郵送・ファックスまたは短大ホームページより申し込みができます。

\*\*\*\*\* 対象 \*\*\*\*\*

玉川保育専門学院  
和泉短期大学  
和泉(老人)福祉専門学校卒業生

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

13:00~13:15 受付  
13:15~14:15 総会

## 和泉短期大学

### 現任研修&公開講座のお知らせ

『保育の今 —あらためて子どもに即した保育の基本を学ぶ』

【開会挨拶】 これからの学びと人をつなぐ拠点としてのIZUMI

【第1部】 「保育における新と真・変えることと変わらないこと」

【第2部】 実践事例とシンポジウム  
「保育の今・子ども主体の保育実践とは?」

日時 8月26日(土)  
14時~16時30分(13時30分受付開始)

場所 和泉短期大学3号館 和泉クラーク・ホール  
参加費 1,000円

#### 申し込み方法

8/7(月)までにQRコードを読み込み、Google Formsで申し込んでください。



※詳細は、別紙のチラシをご覧ください。

## いずみ祭 ホームカミングデー

### いずみのひろっぱ

(卒業生と教職員の交流スペース)

4年振りの開催です。  
遊びに来てね!

開催日程

10月28日(土) 10時~15時

事前申し込み不要、当日直接短大にお越しください。  
※教室など詳細は10月になりましたら短大HPに掲載します。



## 卒業生の皆様

利用案内

貸出冊数 5冊(図書・絵本・雑誌・紙芝居)

貸出期間 1ヶ月 開館日のご案内→<http://www.izumi.ac.jp/library/>

## 卒業生も図書館利用できます

初回利用時に、身分を証明するもの(身分証明書・運転免許証・保険証等)をお持ちください。

カウンターで、卒業生 図書館利用者登録カードに

記入し、ご提出ください。

和泉短期大学附属図書館

## 編集後記

今年度最初の同窓会いずみになります。

さて、コロナによる影響は小さくなったものの、まだ様々な所で皆様大変な思いをされていることかと思えます。マスク着用自由化や少しずつコロナ禍以前の生活に戻っていく中で、人との関わりが増えていくことと思えます。その中で「隣人愛」を忘れずに関わりや思いやりのある行動をしていくことで、幸せの輪が広がっていくことを願っています。私達同窓会いずみも、在学生・卒業生の皆様に出来ることがないか試行錯誤して参りますのでよろしくお願いいたします。(副会長 林 和也)

おねがい

毎回多くの同窓会便りが宛先不明で戻ってきています。住所や氏名が変更された方は、ハガキ・FAX等で短大までおしらせください。短大のホームページや右側のQRコードをスマートフォンで読み取ることで、インターネットからも変更手続きができます。

●編集・発行 同窓会 いずみ

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉 2-2-1  
(和泉短期大学事務局内)

電話 042-754-1133 FAX 042-753-2087

発行責任者 会長 川井起彦



QRコード